



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9063 URL <https://www.okaken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 和充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 馬屋原 章 TEL 086-252-2111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	19,292	1.3	593	84.7	702	64.2	540	98.3
2021年3月期第2四半期	19,040	△11.6	321	△67.5	427	△64.1	272	△67.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 531百万円 (63.4%) 2021年3月期第2四半期 325百万円 (△56.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	266.39	—
2021年3月期第2四半期	134.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	41,766	18,478	44.2	9,101.35
2021年3月期	42,180	18,091	42.8	8,909.25

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 18,450百万円 2021年3月期 18,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,700	0.5	1,560	17.9	1,740	12.1	1,220	11.0	601.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	2,200,000株	2021年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	172,807株	2021年3月期	172,667株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	2,027,280株	2021年3月期2Q	2,027,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年来の新型コロナウイルスの世界的な感染症拡大が依然として猛威を振るい、外出自粛などによる国民生活、雇用、企業活動など深刻な打撃を受けており、経済活動、消費活動が減退する極めて厳しい状況が続いております。

物流業界におきましては、国内総輸送量は小幅ながら増加が見込まれるものの、労働環境の改善、安全対策への対応などによるコストの上昇、さらには燃料価格の高騰による大幅な経費の増加など、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと、当社グループでは、年度の目標を「変化への対応と輸送の効率化」と定め、徹底した輸送品質の向上への取り組み、あらゆる無駄の排除と効率化を進め、適正運賃・諸料金（付帯作業料等）の収受を継続的に進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は192億9千2百万円(前年同四半期比1.3%増)となり、営業利益は5億9千3百万円(前年同四半期比84.7%増)、経常利益は7億2百万円(前年同四半期比64.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4千万円(前年同四半期比98.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、貨物取扱量がやや回復したことや、適正運賃収受の継続的な取り組みを行ったことなどにより、営業収益は184億8千5百万円(前年同四半期比0.9%増)となり、営業利益は5億2千6百万円(前年同四半期比80.4%増)となりました。

② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売価格の上昇等により、営業収益は4億5千4百万円(前年同四半期比29.2%増)となりましたが、仕入価格の上昇等により、営業損失は2百万円(前年同四半期は1百万円の営業損失)となりました。

③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は3億5千2百万円(前年同四半期比3.1%減)となり、営業利益は5千8百万円(前年同四半期比3千9百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は417億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千4百万円の減少となりました。これは、受取手形及び営業未収入金の減少等により流動資産が6億6千8百万円減少し、建物及び構築物（純額）の増加及び建設仮勘定の減少等により固定資産が2億5千4百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、232億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1百万円の減少となりました。これは、短期借入金の増加等により流動負債が18億3千万円増加し、長期借入金の減少等により固定負債が26億3千2百万円減少したことによるものであります。なお、短期借入金の増加及び長期借入金の減少はシンジケートローンの返済期日が1年未満となったことにより流動負債への振替によるものであります。

純資産につきましては、184億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千7百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、国内各地に出されておりました緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置は、全都道府県で解除されましたが、収束時期は見通せず、未だ予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社グループでは、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、お客様と従業員の安全を最優先に考え、さらなる輸送品質の向上を図り、お客様に満足していただける輸送品質で、信頼され選ばれる会社を目指す所存であります。

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月7日公表時からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,401,765	6,245,854
受取手形及び営業未収入金	6,564,252	6,026,207
棚卸資産	114,950	143,871
その他	351,874	348,017
貸倒引当金	△2,633	△2,427
流動資産合計	13,430,210	12,761,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,763,056	7,634,679
車両運搬具(純額)	1,434,551	1,558,723
土地	15,336,005	15,318,997
その他(純額)	1,076,179	337,940
有形固定資産合計	24,609,793	24,850,341
無形固定資産	589,577	580,965
投資その他の資産		
投資有価証券	3,019,891	3,016,058
その他	547,189	573,102
貸倒引当金	△15,674	△15,674
投資その他の資産合計	3,551,406	3,573,486
固定資産合計	28,750,777	29,004,793
資産合計	42,180,988	41,766,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,804,146	2,659,486
短期借入金	6,009,994	8,268,120
未払法人税等	470,272	351,739
賞与引当金	261,820	385,080
その他	2,459,797	2,172,343
流動負債合計	12,006,031	13,836,769
固定負債		
長期借入金	8,203,253	5,694,432
役員退職慰労引当金	122,244	87,274
退職給付に係る負債	3,397,087	3,352,615
資産除去債務	107,830	108,613
その他	253,356	208,158
固定負債合計	12,083,771	9,451,092
負債合計	24,089,802	23,287,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,770,388	1,770,388
利益剰余金	13,591,473	13,989,622
自己株式	△294,219	△294,642
株主資本合計	17,488,242	17,885,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,527	524,967
退職給付に係る調整累計額	32,266	39,276
その他の包括利益累計額合計	573,794	564,244
非支配株主持分	29,149	28,241
純資産合計	18,091,186	18,478,454
負債純資産合計	42,180,988	41,766,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	19,040,516	19,292,848
営業原価	17,804,753	17,786,798
営業総利益	1,235,763	1,506,049
販売費及び一般管理費	914,638	912,861
営業利益	321,124	593,187
営業外収益		
受取利息	20	7
受取配当金	23,253	26,134
受取賃貸料	86,246	83,225
持分法による投資利益	33,358	39,432
その他	47,321	39,829
営業外収益合計	190,200	188,629
営業外費用		
支払利息	82,022	73,442
その他	1,552	6,086
営業外費用合計	83,574	79,528
経常利益	427,750	702,288
特別利益		
固定資産売却益	27,602	124,179
特別利益合計	27,602	124,179
特別損失		
固定資産売却損	501	93
特別損失合計	501	93
税金等調整前四半期純利益	454,850	826,374
法人税、住民税及び事業税	253,053	309,194
法人税等調整額	△72,318	△24,286
法人税等合計	180,734	284,907
四半期純利益	274,116	541,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,712	1,404
親会社株主に帰属する四半期純利益	272,404	540,062

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	274,116	541,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,598	△16,560
退職給付に係る調整額	△25,243	7,009
その他の包括利益合計	51,355	△9,550
四半期包括利益	325,472	531,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,759	530,511
非支配株主に係る四半期包括利益	1,712	1,404

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	454,850	826,374
減価償却費	803,397	777,258
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,130	△34,970
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,800	△206
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127,800	123,260
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	51,419	△34,391
有形固定資産売却損益 (△は益)	△27,100	△124,086
受取利息及び受取配当金	△23,274	△26,141
支払利息	82,022	73,442
持分法による投資損益 (△は益)	△33,358	△39,432
売上債権の増減額 (△は増加)	654,884	538,456
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,962	△28,920
仕入債務の増減額 (△は減少)	△253,398	△144,660
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106,831	△267,385
その他	△55,433	△45,844
小計	1,689,871	1,592,751
利息及び配当金の受取額	48,559	51,423
利息の支払額	△79,915	△71,781
法人税等の支払額	△266,637	△428,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,391,879	1,143,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△251,501	△251,500
定期預金の払戻による収入	250,000	250,000
投資有価証券の取得による支出	△4,534	△5,100
有形固定資産の取得による支出	△538,103	△1,046,881
有形固定資産の売却による収入	32,400	156,754
その他	△13,032	5,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△524,772	△890,929
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△72,000	△69,000
長期借入れによる収入	1,460,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△2,013,427	△1,831,695
自己株式の取得による支出	△334	△422
配当金の支払額	△141,605	△142,020
その他	△21,015	△17,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788,382	△410,424
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	78,724	△157,412
現金及び現金同等物の期首残高	5,519,759	6,035,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,598,483	5,878,342

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、貨物運送収入は、従来、当社グループの各事業所において荷主より貨物運送を受託し発送した日を基準として収益を計上していましたが、一定の期間に渡り収益を認識する処理に変更いたしました。また、一部の取引について、従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客から受け取る額から第三者のために回収する金額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を正確に予測することは困難であります。

当社グループにおいては、感染症の影響が2022年3月期を通じて継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失等の会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、感染症の影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。なお、この仮定については前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	18,324,329	351,852	18,676,181	364,335	19,040,516	—	19,040,516
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	13,895	859,148	873,043	563,275	1,436,319	△1,436,319	—
計	18,338,225	1,211,000	19,549,225	927,610	20,476,836	△1,436,319	19,040,516
セグメント利益 又は損失(△)	291,898	△1,082	290,816	19,151	309,967	11,157	321,124

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額11,157千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	18,485,347	454,618	18,939,965	352,882	19,292,848	—	19,292,848
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	12,876	1,150,662	1,163,538	547,406	1,710,945	△1,710,945	—
計	18,498,224	1,605,280	20,103,504	900,288	21,003,793	△1,710,945	19,292,848
セグメント利益 又は損失(△)	526,531	△2,927	523,604	58,424	582,028	11,158	593,187

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額11,158千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。